

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)  
 【**単独**・連携事業】

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	塩原の文化財及び 史跡の案内事業	総事業費	1,235,267	50,000	50,000	50,000	50,000	1,435,267
		うち市町支出額	860,000	35,000	25,000	0	0	920,000
		うち県交付金	430,000	17,500	12,500	0	0	460,000
2	みんなでつくる地域 と地球の未来 ～気候変動の解 決をめざす科学と行 動を学ぼう～	総事業費	567,569	733,600	733,600	733,600	733,600	3,501,969
		うち市町支出額	510,812	513,520	366,800	0	0	1,391,132
		うち県交付金	255,406	256,760	183,400	0	0	695,566
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,802,836	783,600	783,600	783,600	783,600	4,937,236
		うち市町支出額	1,370,812	548,520	391,800	0	0	2,311,132
		うち県交付金	685,406	274,260	195,900	0	0	1,155,566

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	塩原の文化財及び史跡の案内事業
事業主体の名称	塩原温泉郷土史研究会
代表者の名称	加藤明徹
事業主体の所在	〒329-2921 那須塩原市塩原665
事業主体の概要	・団体の目的:塩原地区1200年の歴史を研究し住民相互の連携と文化の向上を図り、住みよい地域づくりに資することを目的として設立。 ・設立年月日:昭和51年5月1日 ・構成員等:11人
当該事業に係る地域の現状と課題	那須塩原市内で最も歴史のある塩原の貴重な文化財や史跡が見放され、荒廃して行く危機にさらされている。これに対処するため地元民が郷土愛を育み保護に努める必要がある。
事業目的	塩原の文化財、史跡を研究し、保護することは子供たちや地域の人々にその再確認ができ、地域の良さに気づくことを目的とする。
事業概要	【令和3年度】 貴重な歴史を研究した成果をガイドブック「塩原温泉 文化財と史跡めぐり」として発刊した。 配布先:市内コミュニティを通じ各世帯宛て800部、市教育委員会宛て200部 「塩原温泉 文化財と史跡めぐり」を利用した事業 ・公民館、コミュニティと協働し文化財と史跡の講座を行う予定だったがコロナ禍により中止した。 ・観光協会、旅館組合と協働し観光客を対象に塩原の歴史、文化財等の案内を行うよう指示した。 ・塩原テレビ共聴組合の有線放送を利用して、令和4年2月24日、塩原の歴史と文化財の講座「塩原歴史案内」を放送した。  【令和4年度】 「塩原温泉 文化財と史跡めぐり」をもとに塩原の歴史と文化財の講座、広報活動を継続して行う。 毎月1回、塩原テレビ共聴組合の有線放送を利用して、塩原歴史案内の講座を継続して行う。 また、観光客に地域の歴史を案内し賑わいにつながるよう展開する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために ③未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】「教育」、「交流」、「広報」 【目標指標】①子育て環境の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(令和3年度)60点以上 【H27実績 51点】 ③人口の社会増減数(定住促進計画において設定した短期的目標値の継承) 目標値(令和3年度)市への転入者数が転出者を上回ること 【R1実績 72人増】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・「塩原の文化財と史跡」編集発行 ・塩原の歴史、文化財の講座実施 ・観光客に地域の歴史を案内	・塩原の歴史、文化財の講座実施 ・観光客に地域の歴史を案内	・塩原の歴史、文化財の講座実施 ・観光客に地域の歴史を案内		・塩原の歴史、文化財の講座実施 ・観光客に地域の歴史を案内
事業費	1,235,267	50,000	50,000	1,335,267	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	860,000	35,000	25,000	920,000	0
うち県交付金	430,000	17,500	12,500	460,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	375,267	15,000	25,000	415,267	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課協働推進係
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	m.sugimoto@city.nasushiobara.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	塩原の文化財及び史跡の案内事業	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	860,000	
自己資金	375,267	
計	1,235,267	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
印刷製本費	1,235,267	860,000	430,000	375,267	塩原温泉文化財と史跡巡り 1,000部
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	1,235,267	860,000	430,000	375,267	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	みんなで作る地域と地球の未来 ～気候変動の解決をめざす科学と行動を学ぼう～
事業主体の名称	特定非営利活動法人1000年の森を育てるみんなの会
代表者の名称	鈴木大介
事業主体の所在	〒329-2807 那須塩原市接骨木447-8
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 1世紀以上にわたる先人達の水利開発の苦勞をたたえ将来ともに継承し、4万haに及ぶ那須野が原扇状地の健全な水循環に努めるため、那須野が原の水源(人工林)の整備保全に取り組むとともに、間伐遅れを解消し、付加価値の高い木質バイオマス利用など、地域の人々との協働による伐採・搬出・運搬等の経費バランスの確保と当該地域に賦存する再生可能エネルギー資源の積極的な活用や水源保全による地産地消経済を拡充し、地域振興並びに農業振興に寄与する。</p> <p>・設立年月日: 平成25年1月10日</p> <p>・構成員等: 28人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	2020年から、世界のすべての国が参加するパリ協定がはじまる。同協定が掲げる産業革命からの気温上昇を1.5℃～2℃未満に抑える長期目標を達成するためには、那須塩原市が宣言したように2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする必要がある。そのためには、イタリアが公立小学校での気候変動教育を義務化したように、児童・生徒など市民が気候科学を学び、行動することが求められる。しかし、市内はもとより国内でも気候変動に関する教育の機会は少なく、理解は進んでいない。
事業目的	気候変動とともに生きていかざるを得ない子どもたちと保護者を対象に、最新の気候科学に基づいた気候変動の深刻性と緊急性を伝えると同時に、小水力発電など市内の再生可能エネルギーの導入による具体的な解決方法を示すことによって、児童・生徒の理解と行動を促し、那須塩原市が掲げる2050年までの脱炭素化の達成に寄与する。
事業概要	<p>【当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載】</p> <p>【令和3年度】</p> <p>①市内の中学校で、児童・生徒や教職員・関係機関を対象にした環境エネルギー教育を行った。</p> <p>・9/28西那須野中学校出前授業(オンライン)1学年215名参加</p> <p>・10/4黒磯中学校出前授業(同校体育館)1・2・3学年168名参加</p> <p>・12/13三島中学校出前授業(同校体育館)2学年186名参加</p> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>気候変動の現状を伝える「地球規模の気候変動」と、小水力発電など市内の再生可能エネルギーの導入事例を紹介する「地域における行動」の講演を行った。</p> <p>②受講した生徒に作文を書いてもらい、活動報告書をまとめた小冊子を作成し、配布した。</p> <p>配布先: 那須塩原市(市長・関係課6部)、市内各中学校(10校)、講師</p> <p>【令和4年度】</p> <p>毎年度継続して事業を行い、次世代を生きる生徒に必要な知識を共有し、行動につなげる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】③未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「暮らし・環境」市域から排出される温室効果ガスの量</p> <p>【目標指標】③人口の社会増減数(定住促進計画期間において設定した短期的目標値の継承)</p> <p>目標値(令和3年度)市への転入者数が転出者を上回ること 【R1実績 72人増】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①市内の中学校で、児童・生徒や教職員・保護者を対象にした環境エネルギー教育を行った。②活動報告書をまとめた小冊子を作成し、配布した。	①市内の中学校で、児童・生徒や教職員・保護者を対象にした環境エネルギー教育を行う。②活動報告書をまとめた小冊子を作成し、配布する。	①市内の中学校で、児童・生徒や教職員・保護者を対象にした環境エネルギー教育を行う。②活動報告書をまとめた小冊子を作成し、配布する。		①市内の中学校で、児童・生徒や教職員・保護者を対象にした環境エネルギー教育を行う。②活動報告書をまとめた小冊子を作成し、配布する。
事業費	567,569	733,600	733,600	2,034,769	733,600
市町支出金(ソフト事業分)	510,812	513,520	366,800	1,391,132	0
うち県交付金	255,406	256,760	183,400	695,566	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	56,757	220,080	366,800	643,637	733,600

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課協働推進係
担当者名	杉本 雅和
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	m.sugimoto@city.nasushiobara.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みんなでつくる地域と地球の未来 ～気候変動の解決をめざす科学と行動を学ぼう～	
対象年度	3	年度

## 1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	510,812	
自己負担金	56,757	
計	567,569	

## 2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	67,461	60,714	30,357	6,747	講師謝金
旅費	115,108	103,598	51,799	11,510	講師旅費 徳島県⇄那須塩原×2回 宿泊費1回(1泊2日)
印刷製本費	363,000	326,700	163,350	36,300	報告冊子印刷 40部
手数料	22,000	19,800	9,900	2,200	HP掲載 11,000円×2回
消耗品	0	0	0	0	配付資料
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	567,569	510,812	255,406	56,757	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合